

【研究会報告】

沖縄福祉用具支援技術研究会活動報告

代表：沖縄リハビリテーション福祉学院 金城知子

【はじめに】

本研究会は、沖縄県作業療法士会の研究会としてH17年5月に発足した。生活支援の立ち位置で作業療法を考えるならば、「福祉用具」は必須と言っても過言ではないだろう。IT機器の導入、ロボットの介入を含め福祉機器はその範囲拡充と進歩を遂げていると考える。作業療法の居場所を確かめる機会を得たこの1年であったと思っている。この1年の活動をここに示す。



【活動内容】

- ◇ シーティングの基礎編・研修会 H27. 9. 17「ウレタン組み合わせによるシーティング～初級編～」
- ◇ 平成 27 年度リフトリーダー養成研修 H27. 5. 30～31
目的：リフト等の使用に関し事業所等における指導的役割を担うリフトリーダーの養成
- ◇ スライディングボード・シート移乗研修会 「小さな力で楽々移乗・すっと入れてさっと移動」
～～スライディングボードを使って～～ H27. 6. 23
- ◇ 沖縄福祉機器展 「車いすの楽な座り方調整」～シーティングの基礎～ H27. 7. 4
- ◇ 第 30 回リハ工学カンファレンス in おきなわ 実行委員会開催・準備活動
実行委員の 10 名の内沖縄福祉用具支援技術委員会・主要メンバーが重要な役割を担った。
- ◇ 第 30 回リハ工学カンファレンス in おきなわ テーマ「技のちゃんぷる～御万人（うまんちゅ）を支えるテクノロジー」開催 H27. 1113～15、全国から 264 名が参加。
公開講座：植田啓一医師〔沖縄美ら島財団・獣医師・博士〕に「水族館における獣医師の役割（イルカのQOL改善を中心に）」開催。
SIG基礎セミナーSIG (Special Interest Group) の『基礎セミナー』をカンファレンス日程内に集中開催。沖縄の我如古盛健さん率いる「ケントミファミリー」のミニコンサート開催。
電動車いすの方や手助けの必要な方を予め把握し、シャトルバスやリフトバスを個人に合わせて手配する努力をした。『どのような方も同じように参加できる』ことを目指し、結果、今大会のかつてないほどの多くの電動車いすの参加者となった。また、他府県からの参加者の方には、沖縄の頑張っているところを見てもらえたと思う。
- ◇ 第 13 回沖縄県作業療法学会 福祉用具支援技術研究会研修 H28. 1. 24
「車いすシーティング・バックシート張り調整を中心に」

【活動結果】

平成 27 年度は、リハ工学カンファレンスという全国学会をはじめに、テクノエイド協会共催のリフトリーダーなどの研修会など、他職種の参加が多い事業に取り組んだといえる。研究会の研修にも他職種の参加が多くなっている。

【来年度に向けて】

来年度の研究会活動は、例年実施している研修会、新たに研究会として引き受けた研修、要望に応じ病院や施設で事例検討や講習会などを展開しながら、離島を含め活動を拡充して行きたいと考えている。

